

# 全国クラウド実践大賞 2023

## クラウド活用のノウハウを解き放て

全国クラウド実践大賞は、クラウドサービスを活用し第二創業、業務効率化、売上アップ、採用力向上などを実現したノウハウを共有するコンテストです。

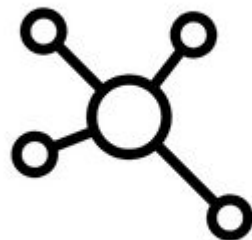
コンテストを通じて地域発のクラウド活用のロールモデルを収集し日本全国のデジタル化推進に貢献することを目的としています。

## 全国クラウド実践大賞に参加するメリット



### 振り返る機会に

応募から発表までのプロセスを通して自社の取り組みを振り返る機会になります。



### ネットワーキングの機会に

登壇することで登壇者同士の繋がりはもちろん、パートナー団体との繋がりなど地域を超えた繋がりができます。



### PRの機会に

クラウドを活用をする企業としてのブランディングや、登壇事例のメディア掲載などを通してPRに繋げることができます。

# 全国クラウド実践大賞での活動

## ① 実践事例の収集・発信

- ・企業から応募のあった実践事例は、書面審査やコンテスト(※)において、有識者等が内容確認を行った後に登録します。
- ・効果が認められた取り組みは、実行委員会の構成員が主催するセミナー等で発表等する機会を設けます。

## ② 支援事例の収集・発信

企業のクラウド活用支援を行った団体・企業・個人の事例を収集し、支援事例として発信します。

## 昨年度の受賞企業：あたらしい魚屋のかたち～DXによる変革～



株式会社イズミダは鹿児島県鹿屋市で昔ながらの魚屋・水産加工品卸会社を営んできたが、魚の消費減や鮮魚需要の減少などの厳しい状況に直面し、売上は減少していた。バックオフィス業務の効率化のためにクラウドツールを導入し、年間150時間以上の労働時間削減に成功。新たに得た時間を活用して、新規事業を展開し、経営基盤を強化。若者・女性の採用も実現し、今後は鮮魚を活かしたスキル・体験の販売にも取り組む意欲を示している。

## 昨年度の受賞企業：地方の花屋のDX奮闘記



株式会社ヌボー生花店は長野市内に3店舗を展開し、働く人々の多様なライフステージに対応するため、DXに取り組んでいる。生花店の現場であるにもかかわらず、バックオフィス業務では様々なクラウドツールを活用し、リモートワークを推進。各店舗のバックオフィス業務を支援するリモートワークチームを設立。この取り組みにより、社員一人当たりの平均給与は1.2倍に増加し、ジョブ型雇用や多様な働き方を提案できるようになり、競争力を向上させると同時に優秀な人材を獲得することに成功。

# 表彰について

---

## 全国大会

- ・大賞(企業部門、支援部門それぞれ)
- ・中小企業賞
- ・審査員特別賞
- ・スポンサーおよびパートナー団体からの賞

## 地方大会(6ブロックで開催予定)

- ・最優秀賞(全国大会に進出)
- ・優秀賞
- ・奨励賞

# 開催実績

	2022	2021	2020	2019	2018
名称	全国中小企業クラウド実践大賞	全国中小企業クラウド実践大賞	Cloud Initiative	全国中小企業クラウド実践大賞	全国クラウド活用大賞
主催	クラウド実践大賞実行委員会【総務省共催】	クラウド実践大賞実行委員会【総務省共催】	クラウド実践大賞実行委員会【総務省共催】	クラウド実践大賞実行委員会【総務省共催】	(一社)クラウド活用・地域ICT投資促進協議会【総務省共催】
時期	地方大会 2022.10 全国大会 2022.12	地方大会 2021.10 全国大会 2021.12	地方大会 2020.11 全国大会 2021.1	地方大会 2019.11 全国大会 2020.2	地方大会 2018.9 全国大会 2018.10
会場	地方大会:オンライン(5ブロック) 全国大会:オンライン	地方大会:オンライン(5ブロック) 全国大会:オンライン	地方大会 札幌市、郡山市、大阪市、岡山市、福岡市 全国大会: オンライン	地方大会 和歌山市、金沢市、盛岡市、長野市、福岡市 全国大会 東京都中央区	地方大会 八尾市、八戸市、福津市、加賀市、伊那市 全国大会 東京都港区
参加数	自己宣言 70社 地方大会 32社(事例登録は44社) 全国大会 15社	自己宣言 54社 地方大会 39社(事例登録は40社) 全国大会 12社	自己宣言 57社 地方大会 38社(事例登録は39社) 全国大会 10社	自己宣言 98社 地方大会 48社(事例登録は54社) 全国大会 10社	自己宣言 未実施 地方大会 36社 全国大会 10社



# 全国クラウド実践大賞のプロセス(企業部門)

## クラウドサービス実践などデジタル化の実装

自薦: 自己宣言

パートナー団体による推薦

### 書面審査/ヒアリング審査

収益力向上・経営効率化に効果のあったクラウドサービス実践事例を選出

### コンテスト(地方大会)

クラウドサービス実践事例の中で特に優れたものを選出

### コンテスト(全国大会)

優良モデル事例の中から、各賞を選出

事例発信による未実践企業への動機付け

応募対象者:

クラウドサービスを活用して経営課題等を解決した企業や団体等

## ■講演時間

10分程度+Q&A

## ■採択基準

1.展開性:

その発表を聞いた視聴者がすぐに取り入れられる要素があるか

2.有用性:

経営課題解決にクラウドサービスを有効に活用しているかどうか

3.浸透度:

顧客や取引先や社内でどれだけの人数が利用しているのか、また浸透させるための工夫がされているか

# 全国クラウド実践大賞のプロセス(支援部門)

## クラウドサービス実践などデジタル化の実装の支援

応募

審査会

収益力向上・経営効率化に効果のあったクラウドサービス支援事例を選出

コンテスト

優良モデル事例の中から、各賞を選出

事例発信による支援事例の共有

# 全国クラウド実践大賞支援部門-応募要領

## ・応募対象

クラウド活用支援事業やクラウド活用支援を行っている個人

## ・個人枠

ITコーディネータ・中小企業診断士等が行った中小企業のデジタル化事例を表彰

例: 応募者が支援したデジタル化・クラウド化のプロジェクト

### ■講演時間

10分とQ&A

### ■応募項目

- ・氏名
- ・団体名
- ・部署
- ・スピーチタイトル(50文字以内)
- ・スピーチ概要(400-800文字)
- ・登壇者プロフィール(400文字)
- ・代表的な支援事例

### ■採択基準

- 1.独自性: 支援者の強みを生かした支援を行っているか
- 2.インパクト: 支援を通して十分な成果があったか
- 3.気づき: 発表を聞いた視聴者に新たな気づきを与え、取り入れられる要素があるか

# 全国クラウド実践大賞支援部門

## ・応募対象

ークラウド活用支援事業やクラウド活用支援を行っている法人や団体

## ・クラウド実践支援プログラム枠

公的機関が実施する中小企業のデジタル化支援事例を表彰

例:複数回にわたるデジタル化やクラウド化支援に関する勉強会、ハンズオン支援事業等

### ■講演時間

10分とQ&A

### ■応募項目

- ・氏名
- ・団体名
- ・部署
- ・スピーチタイトル(50文字以内)
- ・スピーチ概要(400-800文字)
- ・登壇者プロフィール(400文字)
- ・代表的な支援事例

### ■採択基準

- 1.地域性:地域特性を考慮した支援プログラムかどうか
- 2.インパクト:成果を生み出したプログラムかどうか
- 3.連携性:地域内外の団体や専門家と連携を行ったかどうか
- 4.気づき:発表を聞いた視聴者に新たな気づきを与え、取り入れられる要素があるか

# コンテスト運営体制

## 全国大会

主催:クラウド実践大賞実行委員会

特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会【事務局】

ノーコード推進協会

一般社団法人ライトハウスDX支援協会

後援(申請予定含む):

総務省、デジタル庁、中小企業庁、(独法)中小企業基盤整備機構、(独法)情報処理推進機構、(一財)全国地域情報化推進協会、(一社)中小企業診断協会、(一社)テレコムサービス協会、(一社)日本コンピュータシステム販売店協会、Workstyle Innovation Consortium、Re:Innovate Japan

## 地方大会(6ブロック)

主催:クラウド実践大賞実行委員会

後援(申請予定含む):

総務省地方総合通信局、エリア内の支援機関や業界団体

# 地方大会

日にち	大会名	開催地	パートナー・後援団体等
10月6日	東海・北陸大会	NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE (名古屋市)	
10月11日	九州・沖縄大会	COMPASS小倉 (北九州市)	
10月13日	中国・四国大会	SANDBOX TOTTORI (鳥取市)	
10月17日	近畿大会	QUINTBRIDGE (大阪市)	
10月25日	北海道・東北大会	enspace (仙台市)	DX NEXT TOHOKU
10月27日	関東・信越大会	MOYORE: (新潟市)	新潟IPC財団

## 地方大会当日のプログラム

- ・審査員や登壇者はジェンダーバランスに配慮して選定
- ・審査員は構成団体や有識者から3-4名等を予定

時間		
13:00-13:05	趣旨説明	趣旨説明
13:05-15:30	プレゼンテーション	ファイナリストによるプレゼンテーション(4-6社程度)
15:30-15:40	休憩	
15:40-16:00	スポンサーセッション	
16:00-16:10	休憩	
16:10-16:30	表彰式	表彰、挨拶、講評など
16:30-17:00	名刺交換	登壇企業と参加者による名刺交換会



## 全国大会当日のプログラム(支援部門)

時間		
10:00-10:05	趣旨説明	
10:05-10:50	プレゼンテーション	支援部門(個人によるプレゼンテーション3名ほど)
10:50-10:55	休憩	
10:55-11:40	プレゼンテーション	支援部門(法人によるプレゼンテーション3団体ほど)
11:40-12:00	スポンサーセッション	
12:00-12:30	結果発表	

## 全国大会当日のプログラム(企業部門)

時間		
13:30-13:35	趣旨説明	趣旨説明
13:35-14:35	プレゼンテーション1	ファイナリストによるプレゼンテーション(4社程度)
14:35-14:40	休憩	
14:40-15:30	プレゼンテーション2	ファイナリストによるプレゼンテーション(3社程度)
15:30-15:35	休憩	
15:35-16:20	プレゼンテーション3	ファイナリストによるプレゼンテーション(3社程度)
16:20-16:30	休憩	
16:30-16:50	スポンサーセッション	
17:00-18:00	企業部門表彰式	クラウド実践大賞全国大会出場企業への表彰および構成団体からの挨拶、講評。
18:00-19:00	ネットワーキング	関係機関や登壇企業等による交流会

# クラウド実践大賞2023スケジュール

## 2023 実施スケジュール

6月中旬	プレスリリースの配信 自己宣言の受付開始 実践事例の公募/コンテスト(地方大会)の参加の受付開始 ヒアリング開始
8月14日	実践事例の公募/コンテスト(地方大会)の参加の受付締切
8月中旬	審査
9月上旬	コンテストの観覧者受付開始
10月	地方大会(6ブロックで開催)
2023年12月15日	コンテスト(全国大会)の開催